

竹の子だより

第90号 平成24年11月23日(金)発行
発行責任者 坂井 正志
編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

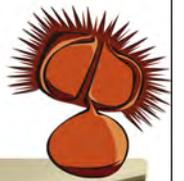
FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



スポーツの秋

実りの秋



食欲の秋



読書の秋



芸術の秋



竹の子祭 開催に向けて

第17回

明星会 竹の子学園
理事長 安藤 進



第十七回竹の子祭が家族会・職員の皆さまをはじめ、ボランティア・地域の皆さまのご協力により盛大に開催できますことを心よりお礼申し上げます。

竹の子祭は、地域の皆さまに障害者のことを知っていただき、障害者が地域の中で皆さまと一緒に生活できるような環境を創ろうと始めたお祭です。

来園のお客さまはもとより、障害者の皆さまやお子さまと一緒に楽しく遊ぶことができるように、模擬店・ゲーム・バザー・陶芸・七宝の体験コーナー等を設けてあります。また、竹の子学園の様子も展示してありますので、竹の子祭を皆さま

楽しんでください。

現在、社会福祉法人として何をすればよいのか、何ができるのか。地域の皆さまへ貢献できることは何かあるのかと模索しています。地域の皆さまや、障害者の皆さまからご意見・ご要望を伺いながら新事業やイベントを実施しています。

本年度の事業としては、大雄山線穴部駅の近くにグループホーム「メルシー・ボク」を立ち上げ、五名の利用者が入居し、新しい生活をスタートしました。

学習支援・居場所づくりのモデル事業委託を、足柄上地区は足柄上合庁の一室をお借りし、南足柄市はハッピーキッチンの一室でスタートしました。この事業には、教職員OB・社会福祉士、学生等のボランティアの皆さまで運営しています。

障害者が地域で安心して過ごせるように、身近な地域の皆さまのご理解と支援をお願いします。

明星会 竹の子学園
家族会会長 村野 慶



今年で第十七回

目の「竹の子祭」を迎える事ができました。家族会・職員・ボランティアの皆さまのご協力により盛大にできましたことを深く感謝申し上げます。又、地域の皆様方、行政関係者・関連業者とのふれあいの場として位置付け家族会もなお一層の「竹の子祭」を一日楽しく盛り上げ心に残るイベントにしたいと思えます。毎年ながら家族会はバザー・手芸・甘酒・花の販売をしております。年々バザー用品の品薄に少し心配な面がありました。皆様のご協力により目標の品物を集める事ができました。ありがとうございます。アトラクションでは、歌手の熊谷ひろみさんをはじめ、皆様のご協力により一層盛り上げていただくことを感謝いたします。「竹の子祭」は利用者・職員・家族会と地域の皆様との「ふれあい」の場として一日楽しく過ごしていただければ幸いです。

竹の子祭実行委員長 林 政行



時下、皆様におかれましては

ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、竹の子学園へのご理解、お引き立てを頂き誠にありがとうございます。地域の方々には竹の子学園を知って頂き交流を深めたいと始めた『竹の子祭』も毎回多くの皆様にご来園頂き、利用者・関係者一同大変嬉しく思っております。皆様のおかげをもちまして第十七回を迎える事が出来ました。今年、韓国料理店が新たに新店して下さり、徐々に国際色豊かになってきています。皆様楽しんでいただけたら様々な内容を用意させて頂きましたので、時間の許す限り楽しんで頂けたら幸いです。また、アンケートを用意させて頂きましたのでこちらの方もよろしくお願ひ申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

障害者虐待防止法が、平成二十三年六月十七日に成立し、この十月一日から施行されました。法律施行に伴い、県西地区ではすべての市町村に虐待防止センターを置くことになりました。今後、虐待防止法の第十条の規定により居室を確保し、養護者からの虐待を受けた障害者を当該

養護者から保護し又は分離することにより、当該虐待障害者の生命又は身体の安全の確保を図り、その権利利益の擁護に資することを目的として、県西地区二市八町と、短期入所を持つ法人と、「被虐待障害者の緊急一時保護に関する協定」を結ぶことになっていきます。

障害者虐待防止法において虐待は、養護者による虐待、障害者福祉施設従事者による虐待、使用者（事業主）による虐待としてあります。学校、病院は含まれていません。そして、虐待の定義を、①身体的虐待②性的虐待③心理的虐待④放棄・放任（ネグレクト）⑤経済的虐待の五つの類型とし、身体的虐待には「身体拘束」が含まれ、ネグレクトの中には、「見て見ぬふり」も含まれま

障害者虐待防止法について

す。とは言っても、本人・他人に危険が及んだり、と様々な場面が考えられます。緊急性があり、他に方法がなく、短時間で、

と言うことで認められる場合もありますが、いずれにしても、ご本人の同意が必要です。小さい事で、当たり前の様に行なわれている支援が、どんどんエスカレートして、とんでもない虐待に繋がってしまう事を私達福祉施設従事者は、肝に銘じて支援をしていかなければなりません。

障害者虐待防止法が施行されたからではなくて、もともと明星会では、基本理念として「常に利用者の目線に立ち、利用者が安心して安全に過ごせる事業を行います。」と謳っていますし、あおぞらプランの遵守を、基本方針の第一にあげています。これらも、基本理念、基本方針を守り、竹の子学園、竹の子ケアセンター、パン工房ハッピー、竹の子ホームでは、絶対に利用者虐待はしないぞ！（坂井）



「スキルアップ&ネットワーク」研修

相談支援センター

「スキルアップ&ネットワーク」研修は、今年度の研修テーマは、様々な抱えている子ども達の「こころ」に焦点を当てるといふ議題を掲げ、たくさんの方々に参加していただきました。



講義は、様々な背景のなかで育ってきた子ども達と関わりの深い方を講師に招き、児童自立支援施設・非行少年・発達障害・里親制度等様々なお話を聞くことが出来ました。講義の中から、社会の中で子どもが大人を信頼して成長して行くことが重要であり、親や周りの大人も子ども達の可能性を信じ、温かく、時には厳しく見守り続けることが社会全体の役割ではないかと感じました。

講師の方々、並びに参加して頂いた皆様、ありがとうございました。今後さらなるネットワークを築いていきたいと思えます。（田邊）

理事会報告

【平成二十四年度 第二回理事会】が、平成二十四年十一月八日、竹の子学園ヴィーホール2階にて開催されました。

議案第一号 第二号

平成二十四年度「学習支援・居場所づくり支援事業」事業計画 予算案

生活保護世帯の学生を対象にした「学習支援・居場所づくり支援事業」について神奈川県より業務委託の依頼を受け、平成二十四年六月二十五日、委託契約を締結いたしました。事業計画及び予算案は報告後、承認されました。

議案第三号

以下の諸規程の改定について、承認されました。

- ①各事業所 運営規程
- ②竹の子学園 防災計画

その他

新ホームの進捗状況についての報告

一泊旅行

キャンプ キャンプ旅行は、富士山こどもの国と富士サファリパークに行ってきました。1日目は夕食がバーベキューでしたが、あいにく雷雨となりましたが、屋根つきのバーベキュー場としっかりとしたテントのおかげで楽しく過ごせました。



2日目は富士サファリパークで動物を見たりふれあい体験をしたりと楽しみ、充実した2日間を過ごすことが出来ました。(安藤進太郎)

テーマパーク

さがみ湖プレジャーフォレストへ行ってきました。鏡の迷宮や巨大迷路を体験し、観覧車やゴーカート等のアトラクションにもたくさん乗って皆さん大いに楽しめました。



2日目は山梨へ行き葡萄等のフルーツバイキング、ほうとうを食べてお腹も満ち湖を眺めながら帰ってきました。(鈴木秀和)

今後もテーマ別の旅行として電車旅行や温泉旅行など、皆さんが楽しめるような旅行を企画しています。

パン工房 ハッピー



8月22日にイベント給食を行いました。ハッピーキッチンでは初めてでしたので、皆さんワクワクしながら移動されていました。

今回のメインは流しそうめんです。そうめんの他にも果物やお菓子、チーズなど内緒で流したので、みなさんは盛り上がっていました。流しそうめんを楽しんだ後は豪華な天ぷら定食を堪能し、笑顔溢れるイベントになりました。(石井めぐみ)



ケアセンター

10月24日、カフェご飯をイベント給食で行いました。食堂をカフェ食堂風にアレンジして、ワンプレートの中に彩った、ハンバーガーや唐揚げ、ポテト、サラダ等を皆さん、美味しそうに食べられていました。食後にはヨーグルトパフェも登場し、心もお腹も満足な時間を過ごせました。また、外にもテラス席を用意して、思い思いに移動され、カフェの雰囲気を楽しまれていました。(鈴木)



スポーツレクリエーション

10月24日に竹の子学園のグラウンドにて、スポーツレクリエーションを開催しました。



前日の大雨で開催が心配されましたが、当日はそんな心配も一気に吹き飛ばすような晴天で“スポーツの秋”日和となりました。

今年は新しいプログラムとして利用者さんから希望が出た「借り物競争」と「バケツリレー」を行ないました。借り物競争では、利用者さん同士が声を掛け合い、手を繋いでゴールする場面が見られ、普段は見られないような新鮮な姿が見られました。

昼休みには職員も一緒になりボール遊びをしていましたが、いつもは「体を動かそう！」と声を掛けても「いいよ。」と言ってしまふ人もとても楽しんでいて、何をすることもまずは自分が楽しむ、そうすれば周りの人も楽しそうな事はやりたくなるのだと感じました。これからも利用者さんが楽しめるレクリエーションを考えていきたいです。(横山)



秋の思い出

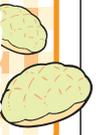
イベント給食

学園

6月に中華フェアを予定していましたが、利用者の体調不良により延期となり、今月に内容を変更して企画しました。今回のイベント給食は少し趣向を変え、トッピングカレーを用意しました。カレーライスは皆さんいつも食べていますが、ハンバーグや唐揚げなど並んだ6品のトッピングメニューを用意しました。他にもサラダを2品、飲み物4品を用意し自分の好きな物を選んでもらっています。ズラリと並んだ美味しそうなメニューに目移りしながら、皆さん選ぶのに時間がかかっていました。それでも、自分の好きなトッピングを考えながらとっても嬉しそうにされていました。また、味にも満足されていたようで皆さんからは「おかわり食べたい」と満面の笑顔でした。(廣澤)



パン工房ハッピー
パン作り体験・地域交流
メロンパン先生喜多さん・尾原さん



八月と言えば夏休み。その夏休みに岡本小学校では『キッズ・カルチャースクール』と呼ばれる活動がありました。その中で『パン作り体験』の講師の依頼があり、利用者二名と職員で岡本小学校まで出かけました。

家庭科室でのメロンパン作りは、何もかも初めてのことばかり。五・六年生十三名が興味津々で手本を見せる二人を見ています。緊張もよい刺激で、堂々と先生をこなしていました。子供達が苦闘しながらパンを作っている側で、さりげなくサポートする二人の姿は素晴らしかったです。

合間にパン工房ハッピーはただのパン屋ではなく、福祉施設であることを説明しました。小学生には難しい内容でしたが、この経験が『障害をもった方も当たり前に地域の中で生活している』ことを知るきっかけになったら嬉しいです。

このように、パンという媒体を通して、地域の方々と交流するきっかけを今後も作っていききたいと思えます。(安藤智美)

竹の子ホーム
地域交流



竹の子ホームでは、スポーツ大会、自治会のお祭りや防災訓練、清掃活動等の地域の行事に積極的に参加し交流を深めています。その一部をご紹介しますと思います。

去る七月に狩野地区の夏祭りに「ポヌール」として「パン工房ハッピー」の焼き菓子を販売しました。利用者さんと世話人と職員が声を出して頑張って販売してなんと完売しました。狩野地区の皆さんにはたくさん声を掛けていただき、嬉しく、また励みになりました。その後の反省会にも参加させていただき、自治会長はじめ狩野地区の方々には大変お世話になり感謝しております。

また、第二沼田荘、メルシーボクでは県民祭に参加し、むかで競争等に出場し、利用者も楽しく盛り上がりました。

今回、ポヌールの矢島一也さんが南足柄市の広報誌で陸上の全国大会



出場のことを取り上げてくれました。矢島さんの陸上に対する思いや将来の夢について語られています。今回、掲載されたことで、自信がつき更に成長する事でしょう。これからも行事等でグループホームを知っていただき、多くの方々と交流ができていけたら幸いです。(佐藤光夫)

赤い羽根
街頭募金運動



竹の子ホーム利用者六名の方と、街頭募金運動(小田原駅西口)に参加してきました。みなさん、「共同募金にご協力をお願いします!」と、大きな声で呼び掛けていました。小雨降る肌寒い中でしたが、たくさんの方の温かいお気持ちを感じ、私達も感謝の気持ちでいっぱいになりました。募金運動に参加してくれたみなさん、協力してくださいました。(清田)



十五年表彰



おめでとうございます!! 全国社会福祉協議会会長より、多年にわたる功績に対し、会長表彰を受賞されました。勤続十五年 林 政行 (本人より)

利用者やご家族、職場の皆様に使っていただきながらの十五年。本当にあつという間の時間でした。これからも、利用者の幸せの為に頑張りますので、よろしくお願い致します。

医務室より
秋の健康予防



ようやく過ごしやすい季節になってきました。ただ今の時期は寒暖の差が激しく、昼間暑いからと夜も薄着でいると、身体が温度差に付いていけず体調を崩しやすくなり風邪、血圧上昇、寝冷えなどになることがあります。寝冷えも身体が冷えることで内臓(心臓、肺、腎臓など)に大きく影響を及ぼすこととなりますので、夜は体を冷やさないように暖かくして寝る工夫(腹巻をするなど)をして下さい。(安岡)

今年度の竹の子祭は様々な催しものがあり、パン工房ハッピーの美味しいパンやお菓子、農業班が一生懸命作った新鮮な野菜が皆さんをお待ちしています。創作班の手作りのお皿や鉢植えや、七宝クラブで作った個性豊かな作品等も皆さんの目を楽しませてくれます。(真田)



農業

美味しい野菜が育つように水やりをしたり草むしりをして大切に育てました。



七宝

クラブ活動で沢山の作品を作り、どれも自信のある物が出来ました。ぜひ買ってください。

竹の子祭について

パン工房ハッピー

美味しいパンを焼いて待っているの皆さん買って下さい。



楽しみ過ぎてワクワクが止まらない。みんなで盛り上がっていきこう。



皿や花瓶を作っています。上手に作れるように頑張りました。作品が完成すると嬉しい。

陶芸



秋

竹の子日和



絵：H・Misumi
作：M・Haneishi

ありがとうございます
善意の気持ち

▼寄付
さがみ信用金庫沼田支店様
小田原社会福祉協議会様
ほうあん第一しおん様
ありんこホーム様
わかば調剤薬局様 北小田原病院様
東京家政大学短期大学様
洗足こども短期大学様
(株)新環境設計様
(株)瀬戸建設様
(有)小島プロパン様

編集後記

気が付けば秋風が冷たく感じる時期になってまいりました。
秋と言えば竹の子学園最大の行事である竹の子祭が開催されます。
地域の方々、ボランティアの方々のご協力を頂き、無事開催する事が出来ました。皆様に感謝申し上げます。
利用者の方々も待ちにまつた竹の子祭を大いに楽しみにしております。



(真田)